

OSAKA MUSEUMS 展覧会スケジュール

2023 年	2 月	3 月	4 月
大阪市立自然史博物館 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 TEL：06-6697-6221	2022/12/17-2023/2/26 特別展 「大阪アンダーグラウンド RETURNS ～掘ってわかった大地のひみつ～」	3/18-5/28 特別展「毒」	
大阪市立科学館 〒530-0005 大阪市北区中之島 4-2-1 TEL：06-6444-5656	2022/12/2-2023/2/26 プラネタリウム 「火星を歩く」	3/2-5/28 プラネタリウム 「星空ぐるり百光年」	
	2022/12/2-2023/2/26 プラネタリウム 「オーロラ」	3/2-5/28 プラネタリウム 「ブラックホールを見た日 ～人類100年の挑戦～」	©ブラックホールを見た日 製作委員会
	2022/12/2-2023/2/26 サイエンスショー 「酸・アルカリのカラフル実験」	3/2-5/28 サイエンスショー 「空気パワー」	
大阪歴史博物館 〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-32 TEL：06-6946-5728	2023/1/21-3/21 特別企画展 「橋本コレクション受贈記念～文明開化のやきもの 印版手」		3/23-5/15 特集展示 「新収品お披露目展 ～令和元年度から3年度まで～」
	2023/1/25-3/21 特集展示「銀行重役のコレクション ～京・大坂の近世絵画を中心に～」	特集展示「銀行重役のコレクション」より 寿老人図 森一風筆 大阪歴史博物館蔵	
大阪中之島美術館 〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-1 TEL：06-6479-0550	2023/1/21-4/2 開館1周年記念特別展「大阪の日本画」		4/15-6/25 開館1周年記念特別展 「佐伯祐三 ～自画像としての風景」
	2023/1/20-2/26 「Osaka Directory 3 遠藤 薫」		4/15-6/18 開館1周年記念展 「デザインに恋したアート♡ アートに嫉妬したデザイン」
大阪市文化財協会 〒540-0006 大阪市中央区法円坂 1-6-41 TEL：06-6943-6833	見学は電話での事前予約をお願いします。		
大阪市立美術館 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町 1-82 (天王寺公園内) TEL：06-6771-4874	改修工事のため2025年春頃まで休館（予定）		2023/3/21-5/21 福島県立美術館 「美をつくし ～大阪市立美術館コレクション」
大阪市立東洋陶磁美術館 〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-26 TEL：06-6223-0055	改修工事のため2023年秋頃まで休館（予定）		2023/3/18-5/21 泉屋博古館東京 特別展「大阪市立東洋陶磁美術館 安宅コレクション名品選101」
地方独立行政法人 大阪市博物館機構 事務局経営企画課	〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-32 (大阪歴史博物館内)	TEL：06-6940-0569 (平日 9：30～17：00)	大阪市博物館機構 HP (https://ocm.osaka/)

美術・歴史・自然・科学…
多彩な分野の学芸員のトークを楽しもう！



2023年

2月4日[土]・5日[日] / 2月11日[土・祝]・12日[日]
2月18日[土]・19日[日] / 2月25日[土]・26日[日]

視聴
方法

YouTube ライブにて
配信いたします。
(視聴無料／申込不要)
※当日会場でのご参加はできません。



開催
情報

大阪市博物館機構のホームページ
(https://ocm.osaka/) より
ご確認ください。





OSAKA MUSEUMSって面白いかも！

「OSAKA MUSEUMS」には 80 名以上の学芸員が所属しています。
美術・歴史・自然・科学・・・それぞれの得意分野を持つ“学芸員”のことを知ってもらえるように、
学芸員が“いま”話したいことを皆さまにお届けするイベントを開催します。

視聴
方法

YouTube ライブにて
配信いたします。
(視聴無料／申込不要)
※当日会場でのご参加はできません。



開催
情報

大阪市博物館機構のホームページ
(<https://ocm.osaka/>) よりご確認ください。
※タイトル・時間・内容等は予告なく変更したり、状況により中止する場合があります。あらかじめご了承ください。



2月4日[土]

14：00-15：00
煎茶の楽しみ
・清風の美意識

守屋 雅史
大阪市立東洋陶磁美術館 館長

江戸～明治・大正期、京都と大阪（大阪）を中心に、茶の湯とは異なるもう一つのお茶の楽しみ方がありました。それは、中国の明代に主流となった喫茶法を基礎に、日本で独自に展開した煎茶による茶事であり、文人と言われる教養人を中心に「清風」と称される美意識を軸に展開しました。今にも繋がるお茶の楽しみ方についてお話しします。



「清風」銘茶旗 赤茶巻末 花白巻末 守屋 雅史 書

15：10-16：10
古代のSDG s
—資源再利用と
代替材料の歴史—

内藤 栄
大阪市立美術館 館長

8世紀の文化を伝える正倉院宝物には奈良時代の人々の節約の工夫が詰まっています。裏紙の使用は当たり前で、紙は切れ端でも捨てません。また、島国日本は外国の材料が手に入りにくいので、仏像などには代替材料が数多く使われました。古代人の知恵からSDGsを考えます。



国宝・聖師如来坐像 奈良国立博物館蔵

2月5日[日]

14：00-15：00
錦影絵について

澤井 浩一
大阪歴史博物館 学芸員

錦影絵は、幻灯を用いた見世物です。風呂（幻灯機）を動かしたり、種板（スライド）のガラス板を操作したりして、投影した画面に動きを与え、物語や絵の変化を楽しみます。日本のアニメーションの源流ともいわれる錦影絵は江戸時代後期に生まれ、明治時代頃まで興行されました。今回は、大阪歴史博物館所蔵資料の解説を通じて、錦影絵の概要をご紹介します。



大阪歴史博物館蔵「五全全入絵」

15：10-16：10
大阪の淡水魚の危機！
～外来魚による遺伝子汚染～

松井 彰子
大阪市立自然史博物館 学芸員

大阪府では45種を超える外来魚が記録されています。それらの外来魚がもたらす悪影響の1つが、在来魚との交雑による遺伝子汚染です。たとえば、在来魚だと信じられてきたドジョウやメダカの一部が実は外来魚で、多くの地点で在来魚との交雑が進んでいるというショッキングな事実が明らかになってきました。大阪府における淡水魚の遺伝子汚染の実態を紹介し、課題と対策を考えます。



大阪府の在来ドジョウ（上）
外来ドジョウ（下）

2月11日[土・祝]

14：00-15：00
美術館のIPM
(総合的有害生物管理)

國井 綾
大阪中之島美術館 学芸員

美術館の仕事は、美術作品を展示することだけではありません。作品をベストな状態で保つことも大事な仕事のひとつです。作品にとって最良の温度や湿度を保つこと、作品に害を与える文化財害虫が発生しないようにすること、作品のためにすべきことはたくさんあります。表に出ない、美術館の裏のお仕事をご紹介します。

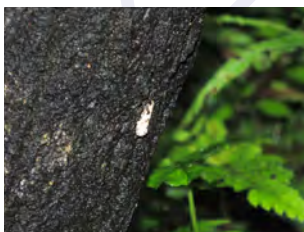


オオヒロズコガメのシイタケ

14：00-15：00
シイタケ害虫の
研究と展望

長田 庸平
大阪市立自然史博物館 学芸員

シイタケオオヒロズコガメ属は栽培シイタケの害虫を多く含む蛾の一群で、日本各地の圃場で被害が報告されています。この属は種間で斑紋がよく似ており、識別は容易ではありません。また、幼生期の記載も進んでいません。今回のTALK & THINKでは、これらのシイタケ害虫の見分け方や今後の同定手法の開発の展望について説明します。



15：10-16：10
美をつくし
—大阪市立美術館コレクション

山下 真由美
大阪市立美術館 学芸員

大阪市立美術館は2022年9月末から2024年度末頃までリニューアル工事を行っています。その間、コレクションの一部は大阪を離れ、全国3会場で開催される「美をつくし—大阪市立美術館コレクション展」に出陳されています。当館の代表的なコレクションを網羅した本展出品作を通じて、美術館の歴史やコレクションの特徴をご紹介します。



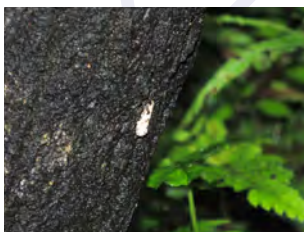
獅子舞牙彫相付「万葉集」コレクショ

2月12日[日]

14：00-15：00
シイタケ害虫の
研究と展望

長田 庸平
大阪市立自然史博物館 学芸員

シイタケオオヒロズコガメ属は栽培シイタケの害虫を多く含む蛾の一群で、日本各地の圃場で被害が報告されています。この属は種間で斑紋がよく似ており、識別は容易ではありません。また、幼生期の記載も進んでいません。今回のTALK & THINKでは、これらのシイタケ害虫の見分け方や今後の同定手法の開発の展望について説明します。



オオヒロズコガメのシイタケ

15：10-16：10
中世大坂の「都市」

谷口 正樹
大阪歴史博物館 学芸員

中世の摂津国・河内国・和泉国には、門前町や寺内町、宿場町や港町、そして城下町といった個性豊かな「都市」が各地にありました。武士をはじめ、様々な人々が躍動した中世において、ヒト・モノの集まる「都市」は、地域社会で重要な役割を果たしています。中世大坂における「都市」の代表例を紹介しつつ、その近世～現代へのつながりについても考えてみたいと思います。



現在の中之島 都会のオアシスであるこの一帯は、かつて大坂の大動脈でした

2月26日[日]

14：00-15：00
博物館資料の
健康管理

藤田 浩明
大阪市文化財協会 学芸員

大阪市内の博物館、美術館にはさまざまな資料や作品が展示・収蔵されています。それらも我々人間と同じように、定期的に状態をチェックし、コンディションを整えながら資料としての「健康」を維持していく必要があります。今回は博物館資料について、健康診断の具体的な方法と、健康管理をしていくための工夫をご紹介します。



大阪歴史博物館 展示室

15：10-16：10
戦国の城を探す
—大阪市内の事例から—

岡本 健
大阪歴史博物館 学芸員

戦国時代における現在の大阪市域では、三好氏や大坂本願寺などの勢力が合戦を繰り返し、多くの城が築かれたと考えられます。しかし、都市化が著しいためその痕跡がすっかり失われ、城の所在地がよくわからなくなっている場合があります。本講座では、古地図や発掘調査成果を丁寧に読み解くことで、戦国の城を探ってみたいと思います。



「摂津国西成郡海老江村絵図」より「宇古城」大阪歴史博物館蔵



大阪歴史博物館から生駒山を望む

14：00-15：00
生駒山民俗探訪

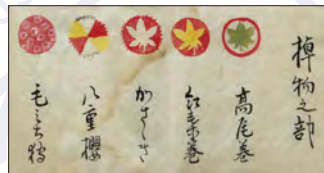
俵 和馬
大阪歴史博物館 学芸員

大阪の東に横たわる生駒山。古くより霊山として認識されてきた当地は、いまでも多様な信仰が息づく祈りの山であり、一方で水車工業や棚田による農業など、さまざまな生業の場として利用されてきた生活の山でもあります。近郊山地としての生駒山の本義は未だすべてを捉えることはできませんが、今回は信仰と利用の実態を切り口に、みなさまとこの山の民俗について考えたいと思います。

15：10-16：10
なにわ菓子物語

北上 真生
大阪歴史博物館 学芸員

大阪は、古くから海外との貿易拠点として繁栄し、西洋や中国・朝鮮などの菓子文化に影響を受け、独自の菓子文化が育まれました。また、和菓子作りに欠かせない砂糖や葛・寒天などの一大集積地でもあり、大阪で育まれた菓子文化は地方へも伝えられました。そこで、江戸時代の大坂の菓子文化について、老舗に伝わる貴重な菓子絵図帳などの資料を鑑みながら、皆さまをスイーツの世界へ誘います。



「菓子見本帳」大阪屋・福井清氏所蔵